

令和4年度に実施した「上尾市脱炭素シナリオ検討調査」における温室効果ガス排出量の現況推計結果では、令和元年（2019）年度は、産業部門からの排出量が最も多く、総排出量が27.3%を占め、次いで運輸部門が24.7%であった。温室効果ガス削減目標においては、家庭部門が各部門の中で一番削減が必要な幅が大きい部門となっているが、産業及び運輸部門における事業所向けにも施策を検討する必要がある。

課題として、事業所向け施策が実施できていない現状、データ不足、成功事例の創出、サポート体制構築の必要性が挙げられることから、以下の3つの柱を中心に施策を検討し、市内事業者の活性化を図る。また、施策によっては、複数事業者による組合や自治会などの団体向け施設も視野に入れて検討する。

## 再生可能エネルギーエリアの創出

事業所や商業施設等を拠点としたカーポート型を含めた太陽光発電・蓄電池の設置、電気自動車・EV充電器の導入を実施することで、環境負荷の少ない再生可能エネルギーエリアを創出し、実現可能性、規模、実施方法等を検討する。

また、東京電力パワーグリッド株式会社との連携により、EMS（エネルギー管理システム）の構築を通じて、エネルギーの最大効率化を図る。

## 事業所からの提案の実現可能性の検討

事業所からの提案や、中小企業向けに実施するアンケート結果を基に、事業所のニーズを確認し、各施策や各種補助金の実現可能性・内容を検討する。（国・県の補助金内容も参考にする。）

また、コスト的な問題や情報不足を解消するため、プラットフォームにおける情報共有の場の提供や、エコアクション21や埼玉県のエコアップ認証制度の認証取得の促進など、サポート体制を構築する。

各種補助金の実施 ※重点対策加速化事業を活用できるものは活用する。

### ①創エネに対する補助

- ・ 太陽光発電システム
- ・ 蓄電池
- ・ 太陽熱利用システム

### ②省エネに対する補助

- ・ BEMS
- ・ LED照明機器
- ・ 高効率空調設備
- ・ 高効率給湯器

### ③車に対する補助

- ・ 電気自動車
- ・ 燃料電池自動車
- ・ 充電設備

### ④建物に対する補助

- ・ 断熱改修

## EVカーシェアリングモデル事業における検証

地域を結ぶ交通手段として、EVカーシェアリングのモデル事業を行い、事業効果の検証を行う。検証結果を域内へ展開させることで、利便性による生活の質の向上、蓄電池機能によるレジリエンス強化を推進する。